

第102回事故防止委員会 安全運転の取組みに学ぶ



去る12月2日（月）、大阪府トラック研修センター601号室において、担当の坂田副理事長出席のもと、第102回事故防止委員会（杉正委員長）が開催されました。

まず、平成25年度に交協連（全国トラック交通共済協同組合連合会）が制作した安全映画DVD『ひとすじの涙』を鑑賞した後、(株)エコトラック（南大阪地域）の池田治子社長より同社の安全運転の取り組みについて事例発表が行われ、



有益な経験を委員一同学びました。今後とも先進的な取組みに学びながら組合の事故防止活動に役立ててまいります。



委員会で発表された(株)エコトラックの安全運転の取組みについて概要を報告します。

21世紀に入り、企業の社会的責任が重要視される時代に、「安全は運送事業の根幹」として位置づけ、「エコトラックは、地域社会の一員としての自覚を持ち、貨物運送における低公害車の普及を通して地域環境保全に取り組むことにより、企業市民としての社会的貢献を果たします」という企業理念を掲げています。

年2回の全員参加の全体安全会議、月1回のチーム安全ミーティング、主任以上の役職者による役職者会議・安全衛生会議を実施しています。

また、デジタコなどの機器の導入を始め、安全重点目標の策定や日報に毎朝安全宣言を記入するなど様々な安全対策を講じています。

ドライバーは、「エコトラックーズ」として、人材育成を図っています。地域

防犯活動にボランティアで参加することで、地域に密着した企業を目指すとともに、警察と一緒に活動をしています。

安全講習会では、「過去の事故・災害を忘れず教訓として生かして行こう！」をテーマに、ドライバー自身が事故現場の写真を撮って資料を作成して報告しています。上からではなく、ドライバー目線の報告となり、自主的な気持ちが芽生える取り組みになっています。

